

令和4年5月31日

第327号

〔発行〕(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部  
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場  
編集 藤沢支部広報部会  
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

## 支部長就任のご挨拶



いすゞ自動車株式会社 藤沢工場

通山 哲

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部 会員各事業場の皆様におかれましては、日頃より藤沢支部活動にご尽力頂き厚く御礼申し上げます。

本年度より支部長を努めさせて頂きます、いすゞ自動車株式会社 藤沢工場の通山と申します。

岩井前支部長におかれましてはコロナ禍での苦難な運営となりましたが何とか乗り切ることが出来ました事、感謝申し上げます。

私達いすゞ自動車株式会社 藤沢工場は、1962年から操業を開始して今年で60年を迎えました。昨年からは工場の一部を開放し、新型コロナウイルスワクチン接種の場を設けさせて頂き、多くの方々にご利用頂きました。これからも微力ながら地域の人々が住みやすい環境づくりに貢献し、安全で安心出来るまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

本年度から2年間の藤沢支部のスローガンは「安全は一人ひとりの意識から 世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場」です。

安全に対する意識が低いほど災害に繋がるリスクは高まります。

個々の安全に対する意識レベルを出来るだけ合わせ、若手から先輩、あるいは上司といった色々な世代を超えたコミュニケーションで互いがリスペクトし合い、安全へのベクトルに向かって進む事が重要であると、このスローガンの中に込められています。

このスローガン実現へ向けて藤沢支部が一丸となり日々活動して参りましょう。

さて、今年度は「第13次労働災害防止計画」の最終年度となっていますが全国的に非常に厳しい

数字となっており、藤沢労働基準監督署管内でも死亡災害を含めて前年度を上回っております。今一度、各自が安全に対する意識を確認し合い、安全衛生活動に取り組まれますよう宜しくお願い致します。

支部と致しましても行政の施策に沿った内容で、藤沢労働基準監督署のご指導・ご助言を頂きながら、安全衛生に纏わる講習会や新たな施策を模索し災害防止活動を推進致して参ります。

近年、職種や業種を問わず世代交代が急速に進んできました。ベテランが培ってきた労働安全衛生の知識や技術を伝承できるよう、広報誌やホームページを通じて紹介するとともに、実務に応じた有効な支部活動も推進致します。

また、第三次産業及び小規模事業場に対しても藤沢労働基準監督署と連携し、法的な要求事項をPRしながら事業規模や事業内容に沿った講習会を開催して行く予定です。

一方、世界では未曾有の事態が起きており、新型コロナウイルス感染症問題に追い打ちをかけるような不安定な経済状況が続いております。我々事業所を取り巻く環境も刻一刻と変化し、先が読み辛い世の中となりました。このような状況を鑑みますと、運営についても決して安定している状況では無いものと感じております。

これまで以上に会員皆様方のご協力を頂き、藤沢労働基準監督署や協会本部のご指導を賜りながら、支部活動を充実したものにして参ります。

結びに皆様の一層のご発展を祈念申し上げ、支部長就任の挨拶とさせて頂きます。

ご安全に。

〔令和4年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

安全は一人ひとりの意識から  
世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
副署長 今井 貴久



4月1日付けで着任いたしました今井と申します。日頃から労働基準行政に多大なご理解、ご協力を賜っていますことに感謝申し上げます。近年は地殻変動やオミクロン株のパンデミック等の自然災害下においても、業務の維持、継続可能な体制を整備する事業継続計画が重要となっています。操業が低下する最大の要因として、人的資材の不足が掲げられていますが、担当者でしかできない業務をできるだけ縮

小し、相互に仕事を担う工夫をする等、大変なご苦勞をされておられることと存じます。このような状況下での安全衛生の定着には、本質安全化の更なる徹底は勿論のこと、安全衛生管理体制の構築や、安全衛生に関する経験（教育）を充実させていく等の基本的な取組が必要不可欠です。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いつつ、神奈川労務安全衛生協会藤沢支部並びに会員事業場の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念し、着任の挨拶とさせていただきます。本年度も職員ともども、どうぞよろしく願い申し上げます。



## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
第一方面主任監督官 青山 丈和



4月1日から藤沢労働基準監督署に配属となりました青山でございます。

藤沢労働基準監督署の勤務は初めてになりますが、管内には海や寺社などの観光地が多く、コロナ禍以前はインバウンドな

どの多くの観光客で賑わっていたと聞きました。

新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は一変し、現在は、ウィズコロナ時代の「新しい生活様式」として「①身体的距離の確保」「②マスクの着用」「③手洗いの励行」、「3密（密集・

密接・密閉）」を避ける等の実践が求められています。

間もなく梅雨となり、やがては過酷な夏がやってきますが、マスクを着用しながらの生活は身体への負担が激しく、高温多湿の環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高まります。

そのため、こまめに水分補給を行い、適度に休憩を取ることを心がけることが大切です。

気兼ねなく仕事をしたり、旅行ができていたことが、いかに幸せなことであったのかと実感します。

皆様方におきましては、コロナ禍を協力しながら乗り越え、どうか健康でお過ごしいただければと思います。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
第三方面主任監督官 山崎まゆか



4月1日より藤沢労働基準監督署の第三方面に着任いたしました山崎と申します。

藤沢労働基準監督署の第三方面の所掌事務は、監督署の一般業務（監督指導や災害調査、許認可事務など）の他、運輸交通

業対策（労務関係）、障害者である労働者・外国人労働者の労務関係、最低賃金・家内労働関係で

す。

前年より引き続きとなりますが、運輸交通業関係では、長時間労働の抑制や過重労働による健康障害の防止の徹底を、障害者である労働者の労務関係に関しましては、最低賃金の減額特例許可の適正な申請及び運用の確保を、外国人労働者の労務関係に関しましては、外国語相談窓口の周知や利用促進、外国人技能実習生に係る法定労働条件の履行確保、出入国管理等関係行政機関との適切な連携を、それぞれ目標として業務を進めて参りたい所存です。

皆様のお役に立てますよう誠心誠意、業務に努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

# 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
安全衛生課長 遠藤 敬行



4月1日付けで藤沢労働基準監督署安全衛生課長として着任いたしました遠藤と申します。昨年まで神奈川労働局雇用環境・均等部企画課におり、久しぶりの監督署勤務となります。

さて、本年は第13次労働災害防止推進計画の最終年となります。期間中は新型コロナウイルス感染症拡大等により、企業活動、

とりわけ安全衛生管理に関する取組みについて、皆さまご苦勞があったことかと思ひます。

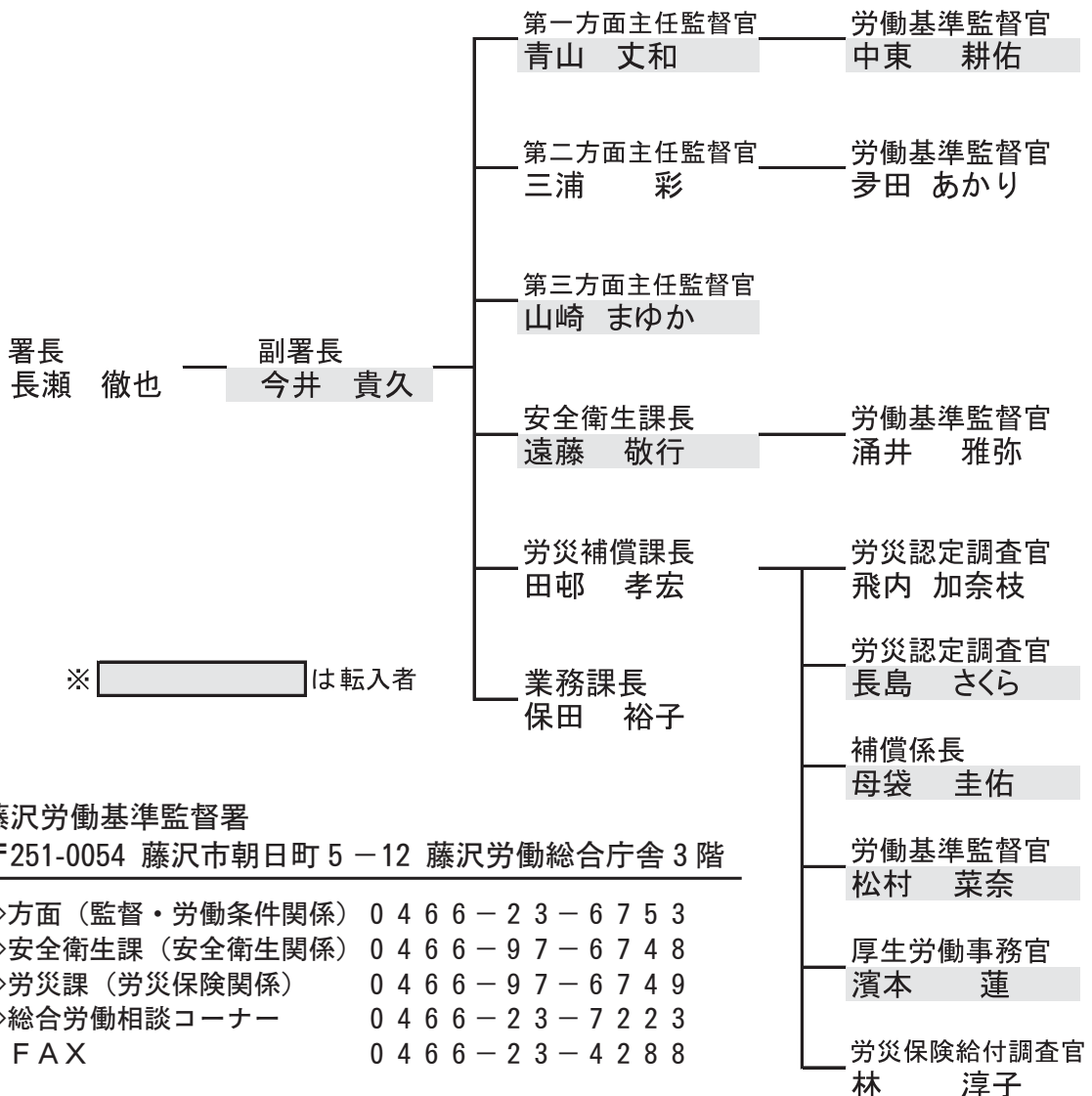
働き方改革関連法等への対応等、皆さまに更なる御苦勞をお掛けするところではありますが、皆さまの職場の安全・健康確保及び快適化に向けて、私としても微力ながら努めていきたいと思ひております。

まずは1日も早く新型コロナウイルスが収束することを祈念いたしますとともに、当地域の安全衛生活動の発展を目指してまいりたいと思ひますので、会員の皆さま方におかれましてはどうぞよろしくお願ひいたします。

## 藤沢労働基準監督署からのお知らせ

### 【藤沢労働基準監督署組織図】

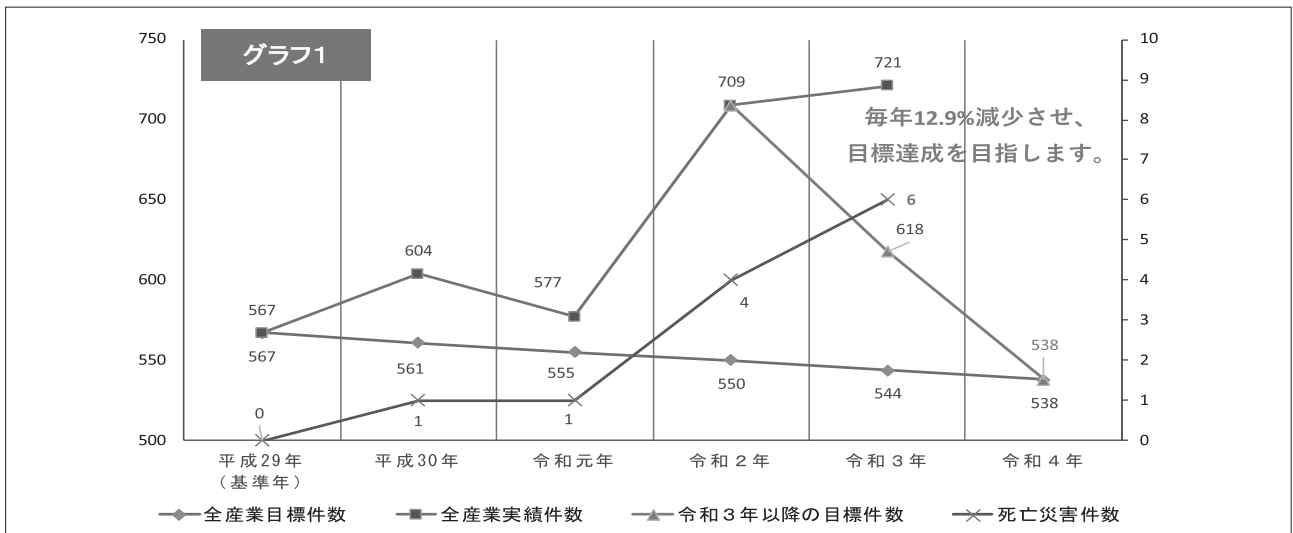
令和4年4月1日付けで当署の組織が下記のとおりになりました。



連絡先 藤沢労働基準監督署  
〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎3階

- ◇方面（監督・労働条件関係） 0466-23-6753
- ◇安全衛生課（安全衛生関係） 0466-97-6748
- ◇労災課（労災保険関係） 0466-97-6749
- ◇総合労働相談コーナー 0466-23-7223
- FAX 0466-23-4288

## 藤沢労働基準監督署管内における 第13次労働災害防止推進計画の進捗状況(全産業・令和4年4月)



第13次労働災害防止推進計画では、平成29年に発生した休業4日以上死傷災害567件を、令和4年までに538件(減少率5%)以下に減少させることを目標にして、皆さまに災害防止の取り組みをお願いしています。

死傷災害の推移を見ると、平成30年は604件、前年比37件増加(増加率6.5%)、令和元年は577件、前年比27件減少(減少率4.5%)、令和2年は709件、前年比132件増加(増加率22.9%)、令和3年は721件、前年比12件(増加率1.4%)となっています。令和2年は前年と比べ709件と大幅な増加となり、令和3年についても、これを上回る721件となっています(グラフ1参照)。

最終的な目標件数538件を達成させるため、減少率を見直し、令和3年、4年の減少率を12.9%と設定して令和3年の目標値を618件と決めましたが、休業4日以上死傷災害が721件発生し、目標達成が出来ませんでした。

また、死亡災害については、令和3年度は6件(うち、新型コロナウイルス感染症によるものは2件)発生しており、平成30年からの推移を見ると、増加傾向となっていることが大変憂慮されることです。

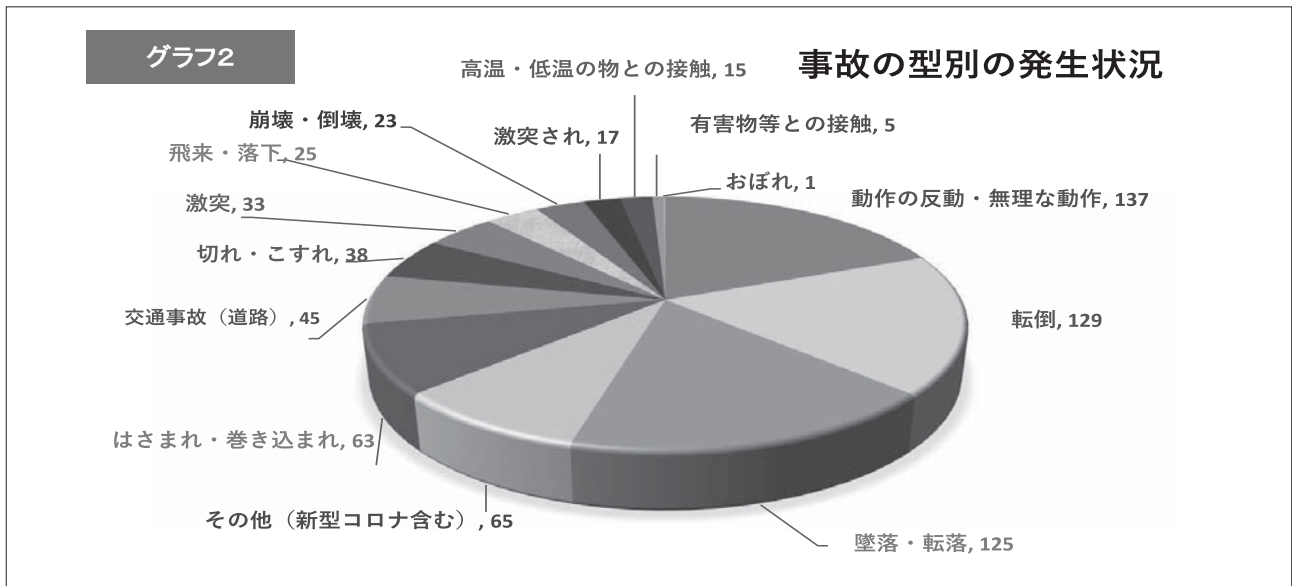
本年につきましては、達成が非常に困難な状況にはありますが、最終目標である令和4年の休業4日以上労働災害を538件以下、死亡災害を0件とすべく、当署としても様々な取り組みを行いますので、皆さま方におかれましては、なお一層の災害防止の取り組みをお願いします。

本年については、令和3年の目標値である618件から12.9%の減少となる538件を目標値として、これを達成するために、皆さまに、より一層の災害防止の取り組みをお願いいたします(下記表参照)。

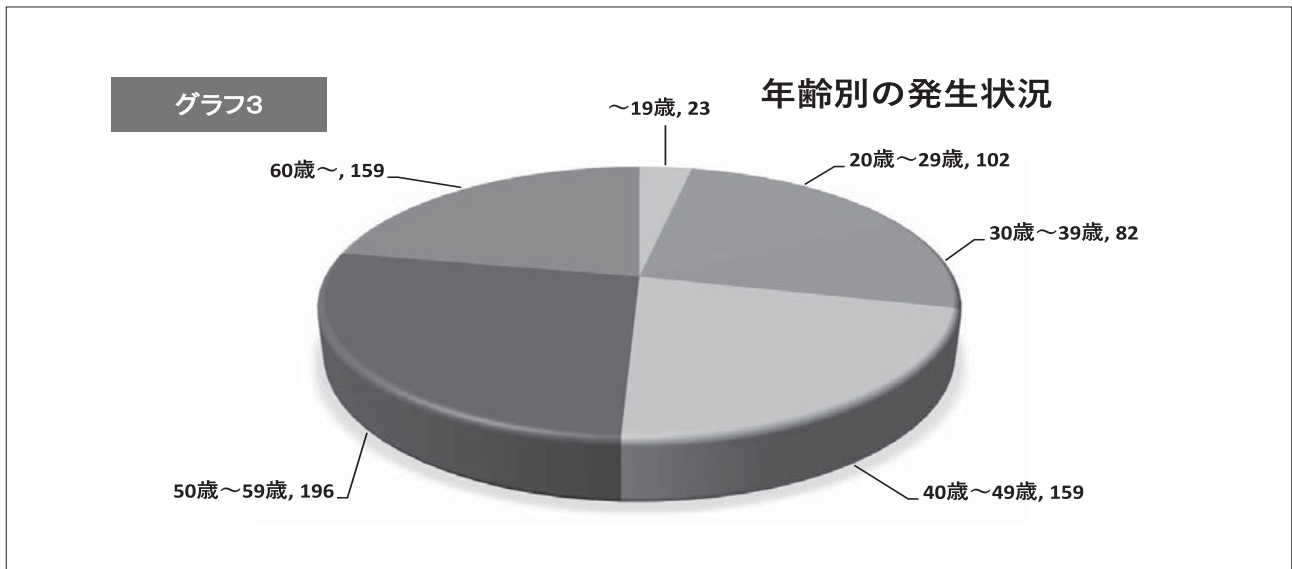
業種別	第12次防 期間中の 死傷災害	平成29年 死傷者数 (基準年)	第13次労働災害防止推進計画表(目標値)										
			平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		
			目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	確定値	見直し 目標値	暫定値	見直し 目標値		
全産業 (対前年増減割合)	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	709	618	721	538	
				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	22.9%	-12.9%	1.7%	-12.9%	
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0	1	0	
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	86	84	98	85
建設業	死亡災害	3	0	15%減少	0	1	0	1	0	2	0	1	0
	死傷災害	357	60	10%減少	59	65	58	60	56	86	68	66	57
陸上貨物運送事業	255	63	5%減少	62	60	62	64	61	65	62	81	70	
第三次 産業	小売業	467	95	5%減少	94	103	93	81	92	122	105	126	109
	社会福祉	276	52	5%減少	51	63	51	60	50	108	73	84	73
	飲食店	177	41	5%減少	41	32	40	29	40	39	39	29	25



また、当署管内の主要産業における業種別の災害件数の推移をみると、令和3年においては、建設業の災害が減少する一方、陸上貨物運送事業、製造業、小売業及び社会福祉施設において死傷災害が増加しています。各業種、事業者のみに限らず、例えば、建設現場や工場における資材等の搬入・運搬時の荷役作業における安全作業方法等、取引先等の事業場も含めた総合的な死傷災害の防止対策を行ってください。



令和3年における死傷災害の事故の型別発生状況では、腰痛災害を含む「動作の反動、無理な動作」が137件（19%、前年比7件減少）と最も多く、次いで「転倒」が129件（17.8%、前年比31件減少）となっています。増加が懸念されるものとしては、死亡災害も発生している「墜落・転落」が125件と前年比で22件増加しており、また機械等への「はさまれ・巻き込まれ」も63件と前年比で12件増加しています。階段やはしごでの昇降時や、脚立等を使用した高所作業についても、使用方法や法定の墜落防止措置に留意してください（グラフ2参照）。



令和3年における年齢別の発生状況については、50歳代が196件と最も多く、次いで40歳代、60歳代が159件と続いています。

昨年から最も増加幅が大きいものは、40歳代で、昨年の144件から15件（増加幅10.4%）となっています。これらについては、新型コロナウイルス感染症による死傷災害の件数も含むため、特定の年齢層について顕著な増加が認められるものではありませんが、高年齢労働者が職場で活躍する機会も増えつつあることから、昨年に引き続き「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）を参考に、高年齢労働者に配慮した職場環境・作業の改善を進めていただくことが重要となります。

# 2022年度 通常支部総会開催される

2022年5月11日(水) 於：藤沢商工会議所ミナパーク 6階多目的ホール



(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の通常支部総会は、藤沢支部規約第20条第1項第2項により出席数47社(57名)、委任状数198社、合計245社で、総会員数319社の2分の1以上である160社を越え、総会が成立し開催され

ました。

来賓に藤沢労働基準監督署より長瀬署長と遠藤安全衛生課長、協会本部より古屋専務理事を迎え、岩井支部長による開会挨拶をいただいた後、第1号議案から第5号議案まで滞りなく決議承認されました。

今年度は役員交代の年であり、同総会で岩井支部長から通山新支部長へとバトンタッチしました。通山新支部長から「各事業所の一人ひとりの意識レベルを合わせ、世代を超えたコミュニケーションで互いがリスペクトしあい、安全へのベクトルに向かって進んでいこう」と会員に呼びかけられました。

その後「無災害事業場表彰」を行いました。これは令和元年から令和3年の3年間に無災害を達成した従業員数100人未満の会員事業場に贈るもので、本年度は3事業場が対象となりました。内2事業場代表者の出席を賜り、岩井支部長より表彰状が授与されました。続いて、藤沢支部の功労者4名に対して「支部功労者表彰」が行われました。

続いて、来賓を代表して長瀬署長から祝辞と、最近の労働行政の課題についてお話をいただきました。「22年度は第13次労働災害防止計画の締め括りとして結果の求められる年だが、残念ながら死傷災害は増加傾向で、現場の高齢化がその背景にある」と現状に触れ「現場のリスクアセスメントが求められている。非常に厳しい状況だが、安全衛生活動に確実に取り組んで目標達成を目指してほしい」と各事業場に協力を要請されました。最後に本協会藤沢支部、ならびに本日参加の皆様のご健勝を祈念したいと述べられ、本総会を締めくくりました。

〈広報部会：三菱電機(株)鎌倉製作所 石崎隆之〉

## 2021年度 支部功労者表彰



5月11日の通常支部総会にて

(表彰状を持っている方の左より、敬称略)

ＴＯＴＯ(株)茅ヶ崎工場	岩井 泰
モリタ宮田工業(株)	鈴野 浩史
キリンビバレッジ(株)湘南工場	松崎 励(欠席)
新明和工業(株)特装車事業部寒川工場	島田 幸夫(欠席)

上段は左から、森支部長代行、石田前支部長代行、西村副支部長、寶角副支部長代行

下段左から、遠藤安全衛生課長、長瀬署長、通山新支部長、古屋専務理事

## 2022・2023年度 スローガン表彰



5月11日の通常支部総会にて

(表彰状を持っている方、敬称略)

いすゞ自動車(株)藤沢工場 須藤 泰佑

上段は左から、森支部長代行、石田前支部長代行、西村副支部長、寶角副支部長代行

下段左から、遠藤安全衛生課長、長瀬署長、通山新支部長、岩井前支部長、古屋専務理事



## 2021年 藤沢支部無災害事業場 紹介

藤沢支部では、過去3年以上無災害を継続している従業員100人未満の会員事業場を対象に、申請に基づき、毎年表彰しております。2021年は3つの事業場が、5月11日の通常支部総会で表彰されました。

【表彰状を持っている方の左より、敬称略】

巴機械工業株式会社 飯田 浩史  
有限会社山下鋳金工業 戸川 貴義  
株式会社テクノサンキョー(欠席)

上段は左から、森支部長代行、石田前支部長代行、古屋専務理事、西村副支部長、寛角副支部長代行  
下段左から、遠藤安全衛生課長、長瀬署長、岩井前支部長、通山支部長



### 株式会社テクノサンキョー

(株)テクノサンキョーでは、神奈川県内の工場内の生産設備の設計及び製作を行っているプラントメーカーです。弊社工場で大型のタンク、機械等を作成し、現場に据付、配管から電気制御までを行っています。重大災害につながるクレーン作業、高所作業もあり、危険を伴う作業が多いため、毎朝、安全朝礼を行い、体操をしてから作業に取り掛かります。安全確認の徹底、声の掛け合いなど安全意識を高め、無災害を継続しております。

### 巴機械工業株式会社

巴機械工業(株)では、主に橋梁架設機械の設計・製造・販売を行っています。安全衛生委員会による毎月の安全パトロール及びミーティング、毎週の朝礼において、整理整頓の徹底・改善点の洗い出しを行い、危険ゼロの職場づくりに努めております。弊社では大型で重量の大きい製品を取り扱っていますので、玉掛け・クレーン作業及びワイヤーのチェックは特に気を付けており、今後も無災害を継続する様に安全衛生活動に取り組んでいく所存です。

### 有限会社山下鋳金工業

(有)山下鋳金工業では、自動車関連と鉄道車両関連の製造を行っております。金型製作から一貫しての試作も小ロットから製造が可能です。人が乗車する部品ですので熟練の技術を持った職人が品質には自信を持って製造しています。安全面では、部品の製造は工作機械やホイスを使った作業が多い為危険が多いですが、朝礼で安全確認の実施や声を掛け合うなど、安全意識を高めています。無災害を達成出来た事に嬉しく思います。

## 〔当面の支部行事予定〕

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| ○職長教育                     | 6月2日(木)～3日(金)   |
| ○第95回全国安全週間 湘南地区推進大会      | 6月8日(水)         |
| ○リスクアセスメント研修会             | 6月14日(火)        |
| ○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育       | 6月21日(火)        |
| ○低圧電気取扱業務特別教育(学科のみ)       | 6月28日(火)        |
| ○粉じん作業特別教育                | 6月29日(水)        |
| ○KYT(危険予知訓練)研修会           | 7月5日(火)         |
| ○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育       | 7月22日(金)        |
| ○職長教育                     | 7月26日(火)～27日(水) |
| ○特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 | 7月27日(水)～28日(木) |
| ○フォークリフト運転業務従事者安全教育       | 8月1日(月)         |
| ○衛生推進者選任時研修               | 8月2日(火)         |
| ○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育       | 8月25日(木)        |
| ○粉じん作業特別教育                | 8月26日(金)        |
| ○職長能力向上教育                 | 8月30日(火)        |
| ○有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育   | 8月31日(水)        |



労安協藤沢支部  
ホームページQRコード



労安協藤沢支部  
2022年度 講習会等開催予定  
QRコード



## 労働保険のお知らせ

令和4年度・労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新期間は、  
**6月1日(水)～7月11日(月)** です。

《年度更新申告書は、5月末頃に発送予定です》

正しい申告のために・・・早目にご準備を。

労働保険の申請は便利な電子申請で!



検索

労働保険の電子申請

お問い合わせは、神奈川労働局 総務部 労働保険徴収課 045-650-2803

## 安・健・快 雑感

コベルコ溶接テクノ株式会社  
原 和 之



先日母の自動車を買換えました。母はもうすぐ75歳になりますが、今でも運転をしており、本音を言えば運転を止めて欲しいところですが、車が無いと仕事が出来ないため、せめて安全装備が充実したコンパクトな車に買換えたいと日頃から考えていました。ちょうど今乗っている車が今年の9月に車検が来るため、今がチャンスと思い、母に軽自動車への買換えを提案しました。母は、「車＝セダン」という昔ながらの考えの人のため、形が気に入らない、フロアシフトじゃなきゃダメだの最初は色々文句を言っていました。いざ車を見に行ったら、展示してあった軽自動車に一目

ぼれし、次の日には契約を決めてきました。少し予算オーバーしましたが、最新の安全装備が充実しており、お金で安心を買えたと思えば満足です。

母があと何年運転するのかわかりませんが、安全運転を心がけて元気に仕事に行きたく思います。



買換えた車です

### 〔新規入会員紹介〕

- |                         |               |         |
|-------------------------|---------------|---------|
| ●株式会社ありあけ 湘南工場          | 藤沢市菖蒲沢39      | 食料品製造業  |
| ●三菱電機インフォメーションシステム統括事業部 | 鎌倉市上町屋325番地   | 情報サービス業 |
| ●アシストVエンジニアリング株式会社      | 藤沢市葛原3001番地の3 | 電子機器製造業 |

### 〔編集後記〕

この度、私は人事異動により労務安全衛生協会の担当を離れることになりました。会社生活の3分の1の期間携わっており、改めていろいろな経験をさせていただき、多くの方にお世話になったことが思い出されますが、その最後の担当記事が編集後記になるとは、なんとでき過ぎたことかと感じています。

コロナ禍で生活様式が大きく変わり、会議はオンラインが常態化し、顔を突き合わせての打ち合せが激減しました。広報部会活動も例に違わず、オンラインにて編集会議を行ってきました。もちろんメリットもありましたが、フリートークは少なくなり、情報交換量が減ってしまったのは残念なことでした。そん

な中でも部会をしっかりとまとめていただいた部会長、副部会長には敬意を表しますし、部員の皆さんにも感謝の念でいっぱいです。

支部報「藤沢」は近年事務局長の旗振りもあり、会員の皆様に近い情報を提供できるように、少しずつではありますが、紙面の改編にも取り組んでいるところです。広報部会からは、今後も会員の皆様には取材や原稿のお願いをさせていただくこともあろうかと存じますが、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

本当にありがとうございました。

〈広報部会：モリタ宮田工業(株) 鈴野浩史〉